

井 荻 中 学 校

「創る  知る」探究心が循環する図書館・進化を楽しむ図書館

BOOKS

今の学校図書館

「朝読書」を中心に読書活動を推進。生徒たちは日常的に本に親しんでいる。特集展示、館内イベントを頻繁に実施している。

一昨年的大幅リニューアルで、広く明るくゾーニングを意識した館内に生まれ変わったことで、来館者で常に賑わっている。

「学校図書館活用実践校事業」に参加し、図書館を活用した授業・活動がより活発になった。

学校図書館の運営

●分掌部会

生涯学習部に配置されており、年間を通して、学校全体での図書館の位置づけや利活用を協議している。

●図書館連絡会

月一回連絡会を開催。活動報告や図書購入、開催企画などを協議し、実務に反映させる。

●教育 DX・探究・図書館活用事業

校内特別委員会として今年度発足。全学年教員と司書教諭・司書が参加。「学校図書館活用実践校事業」は、この委員会に所属し、活動内容の検討・実施・反省を行った。

1 年間の主な活動

●朝読書（通年）

●授業支援（通年）

●読書月間催事年 2 回

初夏…読書パズルなど

秋…図書委員セレクト文庫、読書スタンプラリーなど

▲人権月間

シアターの様子



特色ある取組

●I BOOKS プロジェクト（朝読書など）

『本を通して、多様なテーマ・価値観に触れ「自己形成」を育む機会』の総称。毎朝の井荻タイムに「課題図書&推薦図書(詳細下記)」を読み読書習慣をつける「朝読書」もそのひとつ。

●課題図書&推薦図書

推薦図書は「WARM UP,HOP,STEP,JUMP」の難易度別に提示し、0～9 類を網羅。

●充実した図書委員活動

生徒の主体性を育むことを目標にしている。館内当番、読書月間の各催事、読書啓発活動、利用マナー向上プロジェクトなど、多岐にわたる活動を、生徒がアイデア豊かに実施している。

●教科等連携事業

生徒が多面的に課題を理解することを目的に、図書館資料・図書館空間をフル活用する事業。教科/人権/杉並区中学生派遣事業/特別活動など、その都度教員と司書がタッグを組む。

これからの学校図書館

●「学び DX 中心地」としての図書館

空間的な特徴と資料を生かして、個別最適な学び・協働的な学びを充実させる。

●探究心をサポートする図書館

在学中に自分なりのテーマを定め、情報収集能力・プレゼンテーション力を身につけられるよう、資料・情報・空間を提供する。

●居心地の良い図書館

生徒たちの憩いの場として、使いやすく、いつでも来たいように館内環境を整備する。不登校生徒への対応窓口の一つになる。